

(活動報告書様式)

助成事業実施団体名	やまがた工芸の会		
実施事業名	山形の伝統文化と工芸技術を守り伝えていく文化振興活動		
助成事業区分	※該当する事業名を○で囲んでください。 協働助成事業(一般型) 【県政課題名:自由提案】 協働助成事業(テーマ希望型) 【テーマ名:】 団体支援助成事業		
団体の所在市町村名	長井市	事業費及び助成額	事業費 580,000円 助成額 400,000円



■ 事業目的

私たち工芸作家は、山形の風土と生活文化に育まれ時代の感性に磨き上げられながら伝えられてきた技術と材料で、暮らしに必要で、かつ彩を添える「美しいもの」をつくってきました。私たちは山形に生きることの豊かさを再認識する必要があると考えています。

このため、この事業は、先人から受け継いだ貴重な文化財の空間で作品を展示し、あるいは用いることで、異次元の世界観に触れる作品と伝統文化の融合を試みるものです。特に、感性豊かな高校生とともに日本文化の代表といえる茶道・華道の会を催し、また、文翔

館の空間で作品展を開催し、発表と鑑賞の機会を提供することで、郷土・山形の先人たちの美と知恵と技術の継承、また、次代の新しい創造の展開を図り、文化振興へつなげていくことを目的に実施しました。

■ 実施内容

- ①会員による作品展
 実施日：10月20日(金)～25日(日)
 会場：文翔館(山形市)
 出品者：45名(100点)
 来場者：1,500名
- ②人間国宝・鈴木藏氏(陶芸)による文化講演会
 実施日：10月24日(土)
 会場：遊学館(山形市)
 来場者数：約100名

③高校生による会員作品を使った茶会と華展

実施日：10月24日(土)
 会場：洗心庵(山形市)
 出展校：(茶会)寒河江、(華展)山形西ほか8校
 来場者：200人

■ 事業の成果及び今後の展望

初めての事業でしたが、県教委や高校文化連盟等との協働により、多くの県民に参加していただき、本会と工芸への認知を高めることができました。

今後は、組織強化を図りながら各種助成により事業を継続し、県民の理解を深め伝統と文化の振興の一翼を担いたいと考えています。